

よりよい学校給食のあり方について ～その展望～

大山町学校給食改善検討委員会の取り組み

子どもの健康に大切な食事。学校で食べる給食は、教育の一環としても重要です。学校給食は旧3町から工夫をこらしたそれぞれの方法で実施されてきましたが、将来統一し、よりよい学校給食とするため、教育長から委嘱された委員が提言を取りまとめました。

提言書（抜粋）

1 大山町学校給食改善検討委員会設置の目的と背景

平成17年3月28日の町村合併

により中山町・名和町・大山町が合併して「新大山町」が誕生しましたが、学校給食の実施方法は三町それぞれに違いがあり、将来、統一した計画を立案・推進していく必要があります。

また食材の安全管理、地元食材の利用促進等これからの大山町学校給食のあり方や展望について、保護者、教育現場、給食を計画・実施していく立場などの観点からよりよい学校給食のあり方を協議し、提言書に取りまとめました。

2 提言事項

①学校給食の調理方法について

将来的には、全校区を児童・生徒が調理の状況を身近に感じられ、給食配送が不要な自校方式にするのが望ましい。

②学校給食摂取の方法について

児童の発育状況に大きな差異のある小学校は発育状況別のグループでの給食摂取が望ましい。

③食物アレルギー対策について

学校給食では多様なアレルギー症状全般に対応することはできないので、現状の設備等で対応できない症状の子どもには家庭で対応してもらうのが望ましい。

れる。

④食材の地産地消の推進について

生産・供給体制の整備を推進し、地場産品の利用促進が望まれる。

⑤食材の安全管理について

食材の安全確保の観点からも低農薬・無農薬野菜の利用を促進するとともに、児童・生徒並びに保護者に理解してもらえるよう意識改革を進める。

⑥給食会計のあり方について

将来的に町内全校区の給食費の納入方法を統一していく必要があるが、滞納の発生を防ぐシステムを工夫していくことが望まれる。

⑦今後の検討課題について

学校給食事業の根幹ともいえる給食費の徴収方法について、保護者の皆様のご理解とご協力を得て円滑に事業を推進し、学校給食の諸問題に的確に対応していく為にも学校給食改善検討委員会を継続して開催していく必要がある。



町長に提言書を手渡しました

大山町学校給食改善検討委員会名簿

区分	大山校区	名和校区	中山校区
小・中学校保護者代表	大山小 PTA 会長 金尾 恭一	庄内小 PTA 会長 野口 昭雄	中山小 PTA 厚生部長 高見 裕美
	大山西小 PTA 会長 山根 謙二郎	名和小 PTA 会長 綿谷 正巳	中山中 PTA 会長 尾古 宣博
	大山中 PTA 会長 山下 正浩	光徳小 PTA 会長 二ノ宮 守	
学校給食担当職員	大山小教諭 西尾 恵	名和小教諭 金田 美月	中山中教諭 酒瀬川 宝子
学校栄養職員	大山給食センター 渡辺 真理子	名和給食センター 礪岩 明子	中山小栄養職員 三原 和恵
学校長代表	大山西小校長 金田 吉人	名和中校長 松本 敏浩	
食生活改善推進員協議会	大山地区代表 荒金 恵美子	名和地区代表 仲田 範代	食改会長 豊島 登志枝